

県指定 史跡

磨崖石塔



石塔群は南北に延びる東側に向った磨崖面に接続して刻まれ、宝塔及び五輪塔からなり、その範囲は全長25mに及ぶ。石塔群全体を通覧すれば宝塔は南側に集まり、北側はすべて五輪塔である。宝塔は丸彫りに近いほどの深い彫りで、高さは平均約2m。4基に銘文があり、嘉暦元年(1326)、同4年(1329)、康永4年(1345)の年号がある。百か日供養、あるいは逆修のために造立されたものであることが銘文からうかがえる。宝塔の間には大小の五輪塔が半肉彫り、厚肉彫りで刻出されており、中には総高で1mを越すものもある。